

事業番号

0054

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	先端基盤技術研究開発推進経費	担当部局庁	研究振興局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～	担当課室	基盤研究課	基盤研究課長 柿田 恭良				
会計区分	一般会計	施策名	X－8 新興・融合領域の研究開発の推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	光・量子科学技術、ナノテクノロジー、数学・数理科学など様々な分野の研究開発に活用される基盤技術に関する研究推進方策や放射光施設等の研究基盤施設の整備・運営等について、検討会や動向調査を通じて今後の施策の在り方の検討及び推進に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	光・量子科学技術、ナノテクノロジー、数学・数理科学など様々な分野の研究開発に活用される基盤技術の研究開発の今後のあり方や活用方策及び研究基盤施設の整備・運営についての検討会開催や外部有識者からのヒアリング等を行うとともに、国内における各機関の現地調査や各種学会・シンポジウムを通じた動向調査、更には国際会議等を通じて諸外国の取組等の情報収集や情報交換を行い、文献情報のみでは得ることが難しい基盤技術の開発・活用、基盤施設の整備・運営等の施策の検討及び推進に資する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	—	—	—	38.7	38.3	
		補正予算	—	—	—	0		
		繰越し等	—	—	—	0		
	計	—	—	—	38.7	38.3		
	執行額	—	—	—				
執行率(%)	—	—	—					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本事業は、基盤技術の研究推進方策や研究基盤施設の運営等について、検討会や調査等により今後の各施策の推進に資するものであり、アウトカムの指標の設定は困難である。		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	基盤技術開発の研究推進方策や基盤研究施設の運営等の施策の立案、改善を行った領域数		活動実績 (当初見込み)	件			()	(4)
単位当たりコスト	9, 677(千円/件)		算出根拠	単位当たりコスト=(平成23年度予算額:38, 707千円)/(活動指標:4件)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	11.1百万円	11.1百万円					
	庁費	10.3百万円	10.4百万円					
	委員等旅費	8.3百万円	8.2百万円					
	非常勤職員手当	6.7百万円	6.3百万円					
	諸謝金	2.3百万円	2.3百万円					
	計	38.7百万円	38.3百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業にかかる経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切な処理に努めている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>本事業は、平成21年度行政事業レビューの指摘を踏まえたものとなっており、執行面における課題もなく、事業の成果目標もたてられていることから、適切な事業と認められる。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

【A】

文部科学省
38.7百万円

・職員旅費 : 11.1百万円
・庁費 : 10.3百万円
・委員等旅費 : 8.3百万円
・非常勤職員手当 : 6.7百万円
・諸謝金 : 2.3百万円

を含む

光・量子科学技術、ナノテクノロジー、数学・数理科学など様々な分野の研究開発に活用される基盤技術の研究開発の今後のあり方や活用方策及び研究基盤施設の整備・運営についての検討会開催や外部有識者からのヒアリング等を行うとともに、国内における各機関の現地調査や各種学会・シンポジウムを通じた動向調査、更には国際会議等を通じて諸外国の取組等の情報収集や情報交換を行う。

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単位:
百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費目と使途の双方 で実情が分かるように記載)	A.文部科学省			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	職員旅費	国内外の動向調査等	11.1			
	庁費	検討会等の開催に必要な経費	10.3			
	委員等旅費	検討会等へ出席するための旅費等	8.3			
	非常勤職員手当	事業実施全体の実施に必要な経費	6.7			
	諸謝金	検討会等へ出席する委員等への謝金	2.3			
	計		38.7	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0